

# 平成29年度 国・県・市に対する新規要望事項

## <秋田県関係>

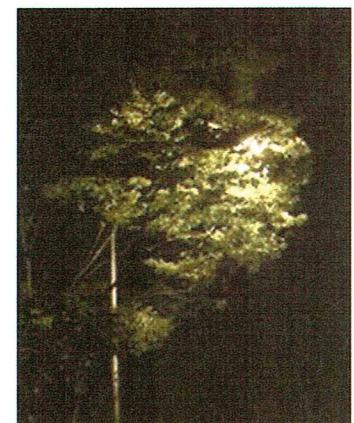
### 1. 比内町町内会

#### 県道65号線の比内町区間の街路灯設置の要望(新規)

- 当町内会を県道が開通して久しいが、街路灯がおよそ400mも途切れている区間があります。
- 当該区間は街路樹(櫻と植え込み)が生育し、かつカーブであることから、大部分の街路灯の明かりが届かず、前方を見通すこともできず 不安を覚えます。
- ある事業所(鈴木電工)では地域貢献を兼ねてスポットライトを通夜間10時まで点灯していますが効果は限定的です。
- 少なくない自転車通学生(新屋高校調べでは26名)やジョギング・ウォーキング利用者の「暗くて、怖い」との声が寄せられているので、適度の間隔で街路灯を設置することを要望します。

参考:南大橋前交差点から国道7号線接続区間に設置されている街路灯の平均間隔

区間	距離(m)	街路灯数	平均間隔(m)	沿線環境
南大橋前交差点～新屋高校前	≈1460	10	≈160	水田・防雪柵
新屋高校前～大森山動物園交差点	≈1160	35	≈35	住宅・跨線橋
大森山動物園交差点～国道7号線	≈1190	10	≈130	住宅・櫻・雑木林
※うち比内町要望区間	≈400	2	≈400	住宅・櫻・雑木林



カーブのため見通しが悪い



街路灯が木に覆われている



樹木の根で歩道がいたみ危ない

### 2. 比内町町内会

#### 県道56号線の路肩確保のコンクリート壁の沈下と亀裂の改修の要望(新規)

県道56号線、日吉神社前交差点～大森山動物園交差点区間東側の道路や歩道を支えている、路肩確保のためのコンクリート壁の沈下や亀裂、それによる歩道のひび割れがあります。最近の集中豪雨等による被害が多く発生していることから、崩落の危険性を感じていますので、早急な改修工事をお願いいたします。



コンクリート壁の亀裂  
歩道もひび割れています

### 3. 関町後町内会

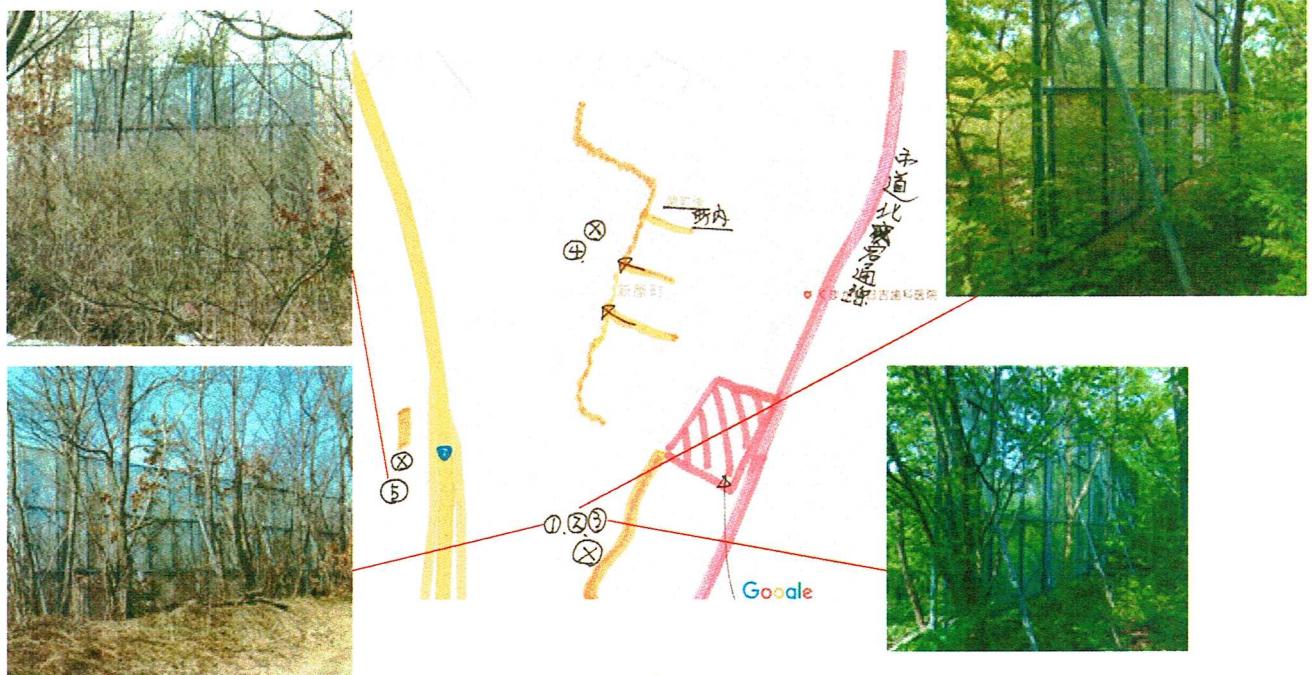
#### 保安林整備事業後の「防風対策の要請」(継続)

私ども町内に於ける西側地域の防風保安林は、松くい虫対策等により伐採され、保安林整備事業(平成25年10月)が行われました。その後クロマツや広葉樹の植栽が行われたものの、強風時の飛砂がひどく、特に冬場の暴風雪時には困惑している状態になっています。土地所有者(株)木内、塚田弥五郎ではなく、秋田地域振興局農林部による代行で行われたものであります。冬場に限らず強風による家屋への影響は計り知れなく、個人では如何ともしがたく対処できない状態になっております。

最近ではR-7南バイパスの4車線化による騒音の影響もあり、以前より町内の住環境が劣悪な状態になってきました。宅地造成開発時にこのような事態を想定できたらと思いますが、30年以上も前のこと、今更どうこうできるものでなく、困り果てております。

添付資料の如く現に防風施設が数カ所設置されていますが、これらは個人で設置した物とは思われず、どのような経緯で設置されたのかも分かりませんが、同様の防風施設を検討していただければ、かなりの効果と改善が期待できると思います。

防風施設の設置を、よろしくお願い申し上げます。



ご要望のありました防風施設の設置については、治山事業での実施が考えられるところですが、植栽を伴わない単独での実施は要件を満たさないことなどから設置は困難な状況です。

県では、当該地の松枯れ被害からの海岸林再生をめざして、平成24、25年度にクロマツ、広葉樹を植栽しております。植栽後は、下刈を行うなど保育施業を毎年実施しており、これまでのところ生長は良好ですが、海岸林としての機能を果たすまでは、もうしばらくの期間を必要とします。

周辺一帯の海岸林は、特定非営利活動法人松林・あらやと県で「新屋海岸林再生活動に関する協定」を締結して、両者が協力して再生を図ることとしておりますので、今後とも引き続き取り組んで参りたいと考えております。

## <秋田県警察本部関係>

### 1. 南団地町内会

#### T字路交差点への信号機の設置について(継続)

県道寺内・新屋・豊岩線沿いのディリーヤマザキ付近にT字路がありますが、交通量が多くて県道への進入(右左折)が大変危険で苦慮しておりますので、信号機を設置してくださるよう、昨年に続いてよろしくお願ひいたします。

秋田市新屋田尻沢「ディリーヤマザキ新屋田尻沢店」前丁字路交差点への信号機設置の件であります。現地の朝のラッシュ時間帯の交通状況を確認したところ、県道側の車両が切れるタイミングで団地側から車両の流出が可能であること、車両の滞留が著しく長くなかったこと、双方の交通が集中するのが朝の時間帯のみであり、信号機を設置して終日運用することにより、反って円滑な交通が阻害されるおそれがあることから、信号機の設置の必要性は低いと認められました。ご要望にそえないことをご理解願います。

## <秋田市関係>

### 1. 愛宕町町内会

#### 道路搖れ調査と全面修理のお願い(新規)

上の坂より日吉神社までの市道ですが、バス路線でもあり交通量の多い場所です。その通りに面している家屋が大型車が通る度に、ギシギシときしむような音と揺れでとても恐怖を感じております。

この辺は「上の坂」の下であり、近くには井戸水も流れているので地面の下がどうなっているのか、道路陥没の危険はないか等が心配です。一帯の住民が一日でもゆっくり休めるよう、早急に調査と改善を要望いたします。

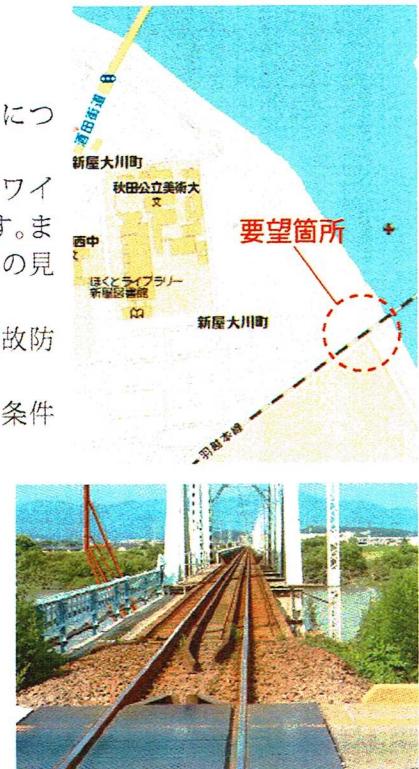


## 2. 大川町町内会

### JR羽越本線雄物川踏切の立体交差化のお願い(新規)

当町内下にある「JR羽越本線雄物川踏切」の立体交差化(アンダーパス)については促進の必要があると思われます。

- 朝夕の通勤時間帯は踏切前後の道路が渋滞し、特に冬場が吹雪くとホワイ トアウト状態になり、一寸先も見えない危険極まりない状況となります。また、踏切幅が十分でないため大型車どうしの交錯が危険な上、新屋駅側の見通しが悪く不安な状況にあります。
- 踏切から簡単に鉄橋側へ侵入することができるため、子どもたちの事故防止上、進入を防止できるようにすることが望ましい。
- 十條製紙跡地の工業団地の開発促進のためにも、立体交差化は必要な条件であり、推進をお願いいたします。



## 3. 高美町町内会

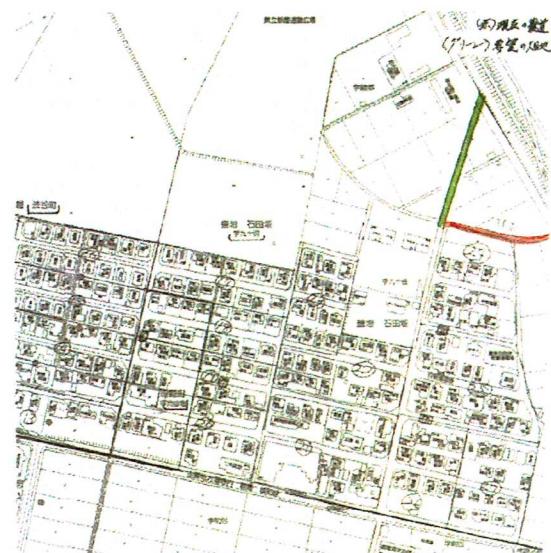
### 秋田市豊岩石田坂字九十田127-2(高美町)地内の市道新設の要望(継続)

当町内会から雄物川堤防沿いの道路(市道・県道?)に出る時に、現在は私道(農道／赤)を通っていますが、道路幅が狭く、車同士の交差ができません。

また、冬になると雪の吹き溜まりができ、車が立ち往生しています。毎日の通行車両の数も相当多いです。

これらの事情から市道(緑)の新設をお願い申し上げます。なお、お願いの土地は農地(畑)になっており、現在作物は殆ど作っていません。

生活道路の新設や拡幅の整備を行う場合は、用地寄附等のご協力が得られた場合に事業化を行ってまいります。なお、用地寄附の取りまとめについては、要望者である地元町内会等にお願いしておりますので、ご理解願います。(道路建設課)



## 4. 下表町町内会

### 屋根つきのバス停設置について(継続)

コインバス資格証明書をいただき、ありがとうございます。お蔭様で利用の度、助かっております。

冬期間の降雪や、風雨を凌ぐことができるよう、バス停／新屋郵便局前の上り線・秋田銀行旧新屋支店前に屋根つきのバス停を設置してくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

バス利用促進を図る上で利用環境の改善は重要と考えており、主要施設等の近隣において歩道幅員などの構造上設置可能な場合は、屋根つきのバス停の設置について、設置主体である路線バス運行業者へ働きかけてまいります。(交通政策課)

## 6. 市営住宅町内会

### 住宅入口の道路拡幅について(継続)

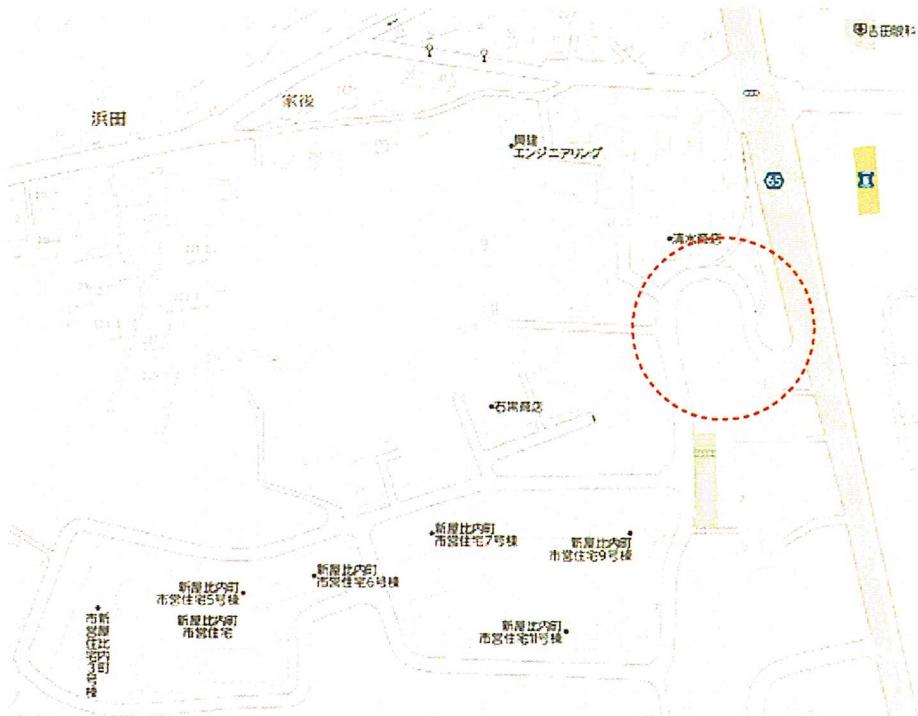
冬期間の積雪時、道路幅も狭くなり、交錯することが大変困難です。是非、住宅の入口の道路拡幅をお願いいたします。

新屋比内町市営住宅入り口については、道路に隣接して民間住宅敷地の擁壁があり、道路を拡幅するためには民間住宅の敷地内に擁壁を後退させる必要があることから、拡幅は困難であると考えております。

冬期間においては、町内会および市営住宅の管理人と連絡を密にし、降雪状況に応じた除排雪により道路の実効幅員を確保するとともに、すべり止めの砂を散布できるよう砂箱を設置するなど通行の安全を図っているところです。また、今後、入り口周辺の樹木の剪定をこまめに実施するなど見通しの確保にも努めてまいります。（住宅整備課）

### 住宅入口の道路拡幅について(再継続)

住民所有者の大型乗用車も多く、冬季積雪時に交錯するのが難しく大変困っております。道路の拡幅改修をお願いいたします。



## 7. 秋田市新屋振興会

### 新屋駅前に、新屋案内板の設置について(継続)

新政酒造跡地の工事が始まりました。秋田公立美術大学や大森山動物園、西部工業団地などを訪れる方々に加えて、さらに多くの人が新屋に来られることになると思われます。

当然、新屋駅に降り立つ人も増えると予想されますが、なぜか新屋駅前には「案内板」が設置されておりません。「芸術文化の薫るまち」とか「昔の町並みの残るまち」などと言ってはおりますが、玄関口の一つである新屋駅前に案内板が無いのは「不親切」と思われても仕方ありません。

新屋駅前に、新屋とその周辺の案内板を設置していただきたく、お願い申し上げます。

新屋地区の案内板については、今年度、西部市民サービスセンター前に設置した1基を含め、来年度までに3基の観光案内板「秋田市まちあるきMAP」を設置する予定としており、新屋地区のまちあるき観光の推進に取り組んでおります。

また、今年度から、秋田公立美術大学の受託研究制度を活用し、新屋駅前から新屋まちづくり拠点施設を結ぶ新屋駅前通りにおけるガラス工芸を活かした街灯や誘導サインなどの設置に関する研究に取り組んでいるところであります。今後、当該研究の結果を踏まえた上で、新屋駅前の案内板の設置について府内で協議してまいります。

なお、案内板を新屋駅敷地内に設置する場合は、JR東日本と十分に協議を行ってまいります。

(企画調整課、観光振興課、交通政策課)

## 8. 秋田市新屋振興会

### 新屋の主要道路沿いにモニュメント的なサインの設置を(継続)

秋田公立美術大学に大学院が誕生することになり、いよいよ「新屋の核」として重みを増すことになります。しかし、新屋に「美術大学のあるまち」という雰囲気を感じさせるものは殆ど皆無の状態ではないでしょうか。「宝の持ち腐れ」のようで勿体ないことです。

そこで、新屋の主要道路沿いの交差点付近に、美大生製作のモニュメント的なサインを設置してはどうかと考えます。「秋田大橋を渡ると、そこは芸術文化の薫るまちだった」。

他とは一味も二味も違う(例えば鉤路の「幣舞橋」に負けないような彫像がアチコチにあるような)まちを目指して、新屋は頑張ります。モニュメント的なサイン作製／設置を、よろしくお願い申し上げます。

現在、美術大学前交差点上部に道路標識がついていますが、見落としやすいほか、大学の建物も道路から奥まっていて、わかりづらい状態です。



秋田公立美術大学の大学院につきましては、先頃、文部科学省から設置認可をいただいたところであり、認可にあたり皆様からご支援いただいたことに感謝申し上げます。

現在、平成29年4月の開学に向けて、限られた予算と期間の中で、教育研究環境の充実のため必要不可欠なものを最優先に施設整備を進めております。

モニュメント的なサインの設置につきまして、アートのまちおこしなどを研究する大学において、価値ある内容になるよう検討を働きかけてまいりたいと考えております、その際、ご提案を参考にさせていただきます。

なお、道路敷地に設置する場合、道路管理者との協議が必要となります。(企画調整課、建設総務課)

## 9. 秋田市新屋地区体育協会・秋田市新屋振興会

### 秋田西中学校のグラウンドの地盤改修工事について(継続)

秋田西中学校のグラウンドは、秋田市では類のない広さと環境を誇るグラウンドです。学校行事や授業は勿論、地域の運動会や各種行事にも広く活用されています。かつては水捌けが悪かったため、平成17年9月には半分ほど(約8300m<sup>2</sup>)の地盤改良工事をしており、この部分に関しては大変よくなりました。残りの部分は、その後手つかずになっており、雑草が根を張っている他、水捌けが悪いため、大会などで使用する前日や当日の朝に雨が降れば、人力でのグラウンド整備は非常に難しい状態です。学校行事や部活動の他、地域住民の交流の場としても重要なグラウンドですので、早期の整備をお願いいたします。

グラウンドの地盤改良については、多額な費用が見込まれることから早期の実施は困難と考えておりますが、引き続きグラウンドの状況等を確認しながら、盛り土や排水施設の整備など、小規模修繕により環境整備に努めてまいります。(教育委員会総務課)

## 10. 笹町町内会・大川町町内会・下表町町内会・中表町町内会・十條団地町内会・新屋駅前町町内会・新屋地区市民憲章推進協議会

### 大川端帶状近隣公園の水路の改良について(継続)

昨春、帯状公園水路の水源を「湧水&雨水」に変えていただいたお蔭で、せせらぎの水質は随分良くなりました。しかし、御蔵橋より下流は相変わらず水が淀んで「汚水化」しています。段差部分を改良して水流を速くするとか、水路の底を浚渫して斜度をつけるなど、改善を引き続きお願いいたします。

ご要望の水路につきましては、今年の2月下旬、雄物川の水路吐き口部分に溜っている土砂を取り除く作業を実施しました。また、今年度は、水路底に溜っている泥を取り除くために、雨の日に新屋樋門を閉めて一定量の水を溜めた後に、樋門を開けて一気に水を流して泥を取り除く作業を3回行い、水の淀みの改善に一定の効果を確認しております。

今後も引き続き、雨の日に樋門の開閉作業を行い、水の淀みの改善に努めてまいります。(下水道整備課)

## 11. 秋田市新屋振興会

### 豪雨による大川端帶状近隣公園の逆流および扇町の浸水の対策(新規)

過日の記録的な豪雨のため雄物川上流域では各地で浸水の被害にあい、我が新屋扇町の一角(帯状公園一帯)でも浸水の被害を被いました。これは雄物川本流が危険水域に達し、帯状公園(せせらぎの流れ)の放流口への逆流を防ぐためにゲートを閉止したことから、公園下のヒューム管も閉鎖され、上流からの流れが行き場を失い、扇町道路のマンホールから噴出したものと考えられます。

このたびは市の対応策として、移動ポンプ車を配置稼働させて、大事に至らなかったようであるが、今後の豪雨時の対応として現存している公園の地下水汲み上げポンプを下流域に移動するなどを検討してみてはいかがでしょうか。継続的に要望している下流の水質もポンプの汲み上げで改善できるのではないかでしょうか。



帯状公園桜橋から南側(散歩道は完全に水没)



帯状公園ポンプ場付近 この付近まで水没)



扇町道路(塾前)と帯状公園



帯状公園南側 新屋幼稚園方面



帯状公園南側 マンホールからの噴出で水没



帯状公園南側と扇町道路 扇町は途中まで浸水

## 12. 秋田市新屋振興会・日新小学校 PTA、日新小学校同窓会

### 日新小学校の環境整備について(継続)

日新小学校関係の要望につきましては、いつも着実にご対応いただき、誠にありがとうございます。現在の校舎が建ちましてから40数年経過し、大変な老朽化を呈しており、もう新築するしかないのではないかとも考えておりますが、今年度も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

#### ①水回りとトイレについてのお願い

- a. 昨年度は、体育館隣接のトイレを一部洋式化していただき、ありがとうございました。ただ、配水管がそのままのため、親たちの利用が多い時には、大量に流されるトイレットペーパーが詰まって悪臭も漂い、教師たちが棒で突いて流そうとするなど大変困っていますので、配水管の拡張をお願い申し上げます。

昨年度和式から洋式へと改修したトイレの排水については、標準の管径の管渠を使用しておりますが、節水型の便器の普及により、排水量が少なくなっていることも詰まりの原因と考えられるため、使用後の水量を増やすことで対応してまいります。（教育委員会総務課）

- b. 給食職員用のトイレやシャワー室が無いので、職員たちは2F図書室のトイレを使用しています。また、職員トイレが無いので、来客時には一番きれいな生徒用のトイレを使用してもらっていますが、午後4時半以降は防火シャッターが閉まるため使用できなくなります。

教職員用のトイレが無いのは日新小学校だけと聞いたことがあります。給食の衛生や調理の効率からも、教職員用トイレの設置をお願い申し上げます。

給食職員用のトイレやシャワー室を完備していない学校は4割程度あり、いずれの学校も設置するためのスペースを確保できないことから、大規模改修工事にて実施する予定です。また、教職員用トイレの無い学校は他にもありますが、設置については、トイレ改修計画に組み込むなど対応を検討してまいります。

（教育委員会総務課）

- c. 地下配管の排水漏れによる地盤沈下は、さらに凹んで4～5カ所に増えています。雨水と汚水と給食排水と一緒に流れ込む構造が問題なのでしょうか。給食室への逆流が深刻です。陥没箇所に土を埋めるだけの対応では解決には至らず、却って地下配管に重みが加わって、中央部が下方に曲がって流れを悪くしているようにも見受けられます。

以上の「水回りとトイレ」は日新小学校の最優先課題ですので、特段のご配慮を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

地下配水管の不良が原因と思われる樹周りの地盤沈下については、適宜修繕してまいります。また、給食室への逆流について

は、配水管の老朽化に伴う油脂分等が管渠内に付着している可能性もあることから、状況を判断しながら管渠清掃を行うなどの対応をしてまいります。（教育委員会総務課）



さらに進む地盤沈下給食室への逆流



給食室への逆流

## ②外壁などコンクリート部分／サッシ等の補修のお願い

- d. 非常階段の老朽化がひどく、鉄筋が剥き出しになっていたり、階段が脆くなって剥がれたり欠けたりして、避難訓練の実施が却って危険になってきたようです。



非常階段の剥がれやヒビ割れ状況



石灰質が溶けて来てツララ状に

- e. 雨水の排管が鉄管なので、内部が錆びて穴が開き、壁等コンクリート部分崩落の原因になっているとも考えられます。頭上にも足元にも大変危険に感じますので、早急な補強・修繕をお願いいたします。

老朽化している非常階段や錆びた雨水管については、平成30年度に予定している外壁改修工事にて、あわせて実施することとして計画しております。（教育委員会総務課）

- f. 二階昇降口のサッシ戸は、外枠そのものが歪んでいるので、サッシ戸を替えるても隙間が数カ所発生し、非常時の開閉に危険を感じています。外壁／階段／天井の崩落防止のため、そして非常に於けるサッシ戸の開閉がスムーズになりますよう、修繕をお願い申し上げます。

二階昇降口のサッシ戸については、3箇所のうち2箇所について今年度既に実施済みです。残りについても来年度実施する予定です。（教育委員会総務課）

## ③教室増設

小学校の1クラスの定員が25～30人制になるのに伴って、教室を増やす対応をしなければなりませんが、もう増設できる土地が無いと思われます。秋田市では、これをどのように考えておられるのでしょうか。

次の④と一緒に考えられると思いますが、いかがでしょうか。

普通教室を増やす対応については、教室を増築するスペースが無いことから、学校運営に支障が無いように学校と打ち合わせをしながら、特別教室の転用などで対応してまいります。（教育委員会総務課）

## ④校舎の改築とグラウンドの拡張について

日新小学校は新屋でも有数の高台にあり、津波襲来などを考えると立地場所としては素晴らしい環境にあります。

しかし校舎は建築後43年から45年経過し、かなり老朽化が進んでおります。また、生徒数の多さの割にはグラウンドは狭く、100mの直線トラックさえ取れない状態です。第2回国民体育大会陸上競技男子400m走の優勝者・高橋慶治氏の母校として残念な限りです。

運動会はなんとか開催しておりますが、応援の父兄席が極めて狭く、父兄たちからは不満の声が挙がっています。

用地買収など難しい問題があると思いますが、秋田の将来を背負う子どもたちのために、校舎改築と100mの直線トラックを含めたグラウンドの拡張を合わせてお願いいたします。

秋田市内の小中学校のうち、昭和40年代に建設された学校は、日新小学校を含め11校にのぼります。これらすべての校舎の改築やグラウンドの改修、拡張をするには、多額の費用を要することから、昨年度策定した「学校施設長寿命化計画」において、直近5年計画では部分改修を実施することとしておりますが、次期5年計画では、大規模改修や改築を含めた方向性を検討する必要があると考えております。（教育委員会総務課）

## ⑤学校に通じる道路の拡張について

日新小学校に通じる道路は3カ所がありますが、いずれも狭く、車の擦れ違いどころか、車が通れないと思われる箇所さえあります。と通学路の拡張を要望してきましたが、昨年度は不幸にも隣家に火災が発生し、やはり消防車が思い通り入れなかつたので消火作業が遅れ、学校側に炎が伸びて、窓ガラスが13枚も割れました。

辛うじて延焼を免れましたが、近くに消火栓が無かったことも問題だと感じました。将来ある子どもたちの命を守るために、緊急車両が容易に通るためにも、小学校まで通じる道路の拡張と、消火栓の設置をお願いいたします。

拡幅要望のあった日新小学校周辺の市道は、生活道路に位置づけられている道路になります。生活道路を拡幅するために必要な用地については、寄附を基本としていること、また、小学校周辺においては住宅が密集しており、道路を拡幅するためには多くの住宅の移転が必要となることなどから、早期の整備は困難ですので、ご理解願います。

また、消火栓の設置については、消火栓、防火水槽等の消防水利が、日新小学校周囲に適正に設置されておりますので、新たに設置する予定はありません。

今後とも、火災発生時には、道路状況を考慮した消防車両の進入および防御活動に努めてまいります。

(道路建設課、消防本部警防課)

※青文字は昨年度の要望に対する回答です。今年度の要望書提出時の資料からは削除して提出する予定です。

※要望提出町内会へのお願い：

継続については、昨年度に実施や解決の方向性が出た要望を削除し、その他の要望をのせております。本来であれば各町内会から継続の要請が必要と考えています。今年度は昨年度の回答を確認の上、継続するかしないかの判断をお願いします。